

恐怖は温もい を消す



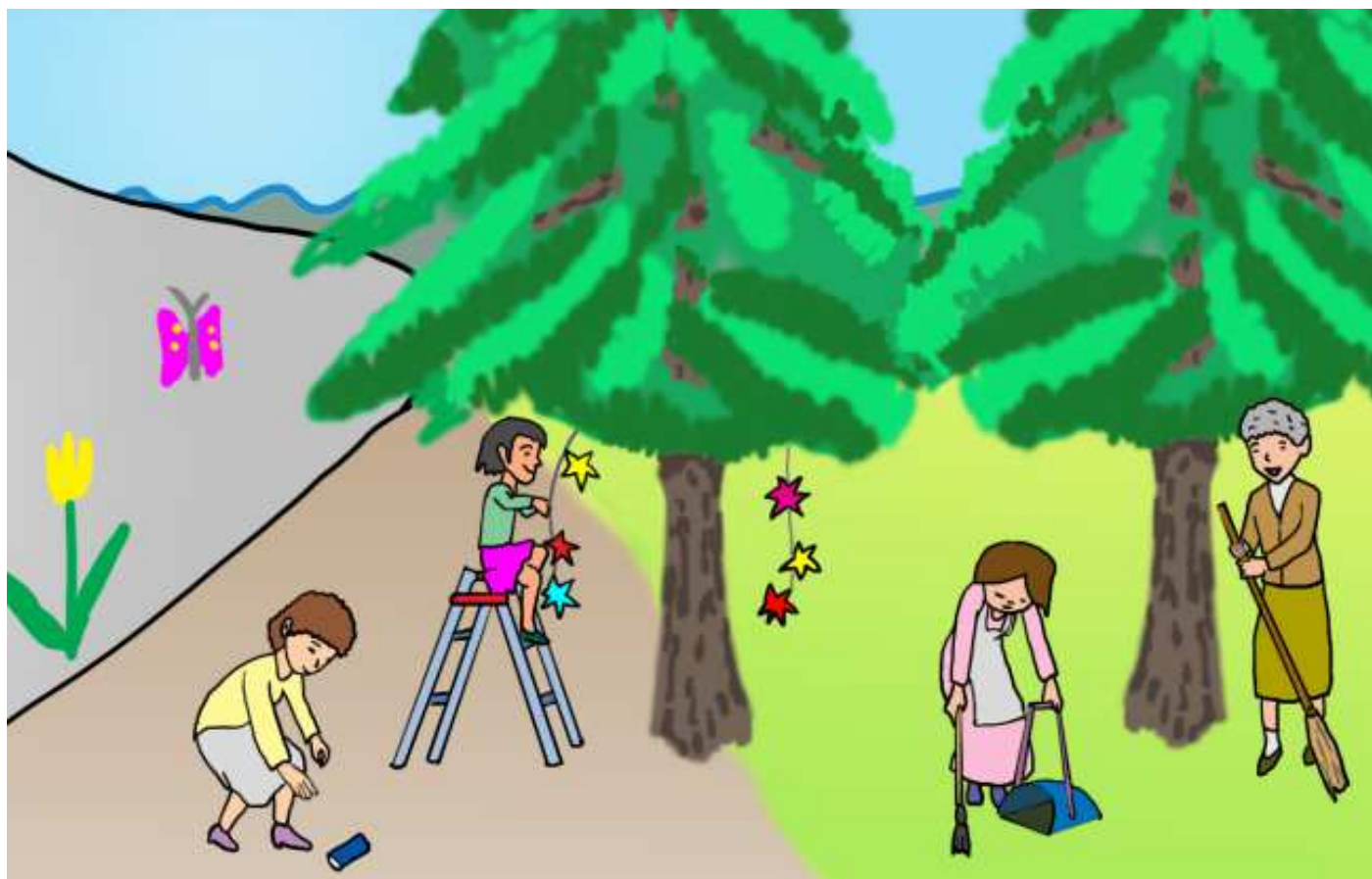
東郷 潤

美しい公園があります。



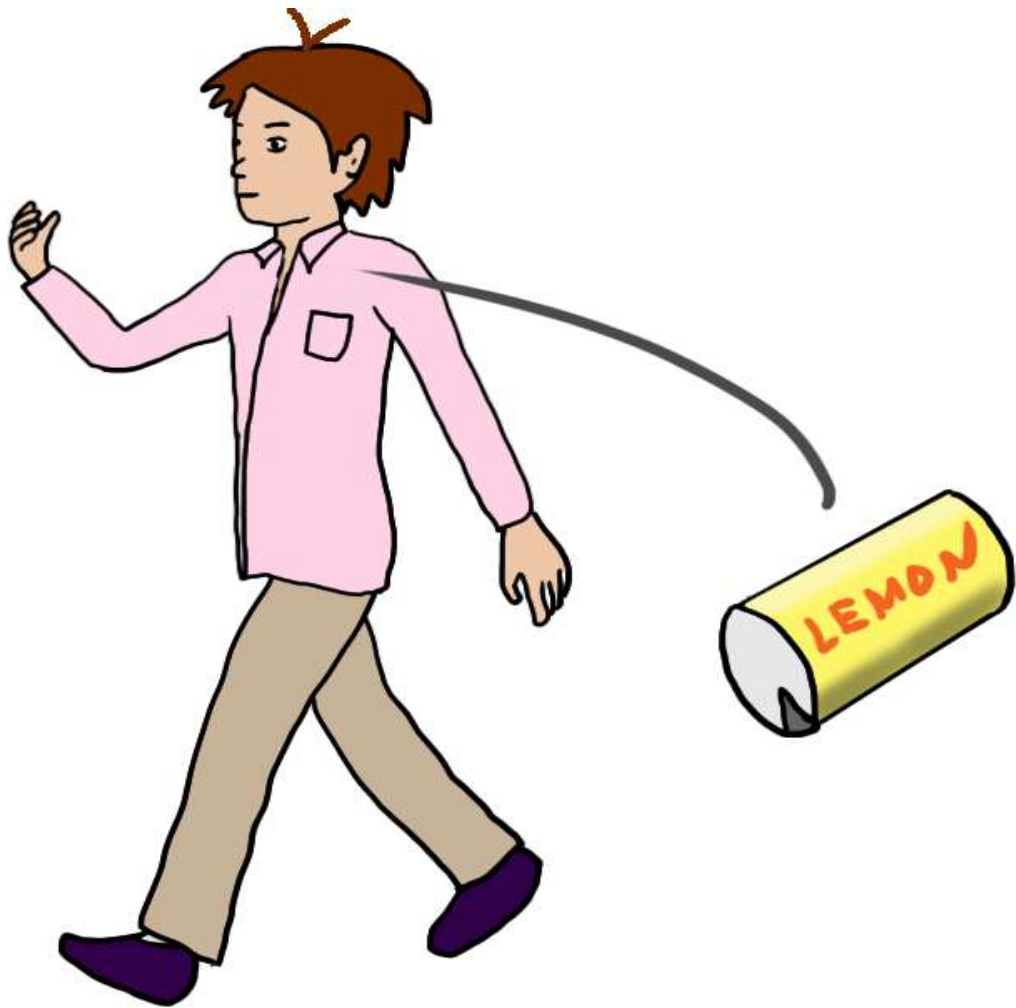
昔から地元の人々が公園を管理し、定期的に公園の清掃をしているのです。彼らは自分たちの公園を愛し、誇りに思っていました。

清掃作業の強制は一切ありません。みな公園が好きだからやっています。



時々、飾りつけをする人もいます。公園の壁には、可愛い絵が描かれていて訪れた人たちの心を和ませてくれます。

けれど町民の中には清掃に協力しない
人がいます。それどころか、ゴミを散ら
かす人すらいるのです。



そこで何人かの有志が公園の中を見回
ることにしました。



それでもゴミの不法投棄は0にはなりません。清掃に出てくる顔ぶれも固定されてきました。



そこで彼らは町議会へ働きかけることとしました。

そして、ついに議会で公園美化の条例が制定されたのです。



公園の清掃は町民全てへ義務付けられ、違反者には少額ですが罰金が科せられます。またゴミの不法投棄は厳罰にすると決まりました。

公園も綺麗になるぞ

これで見回りも
しないで済むわ

やった～！



こうして多くの町民が、公園の清掃活動に参加するようになったのです。

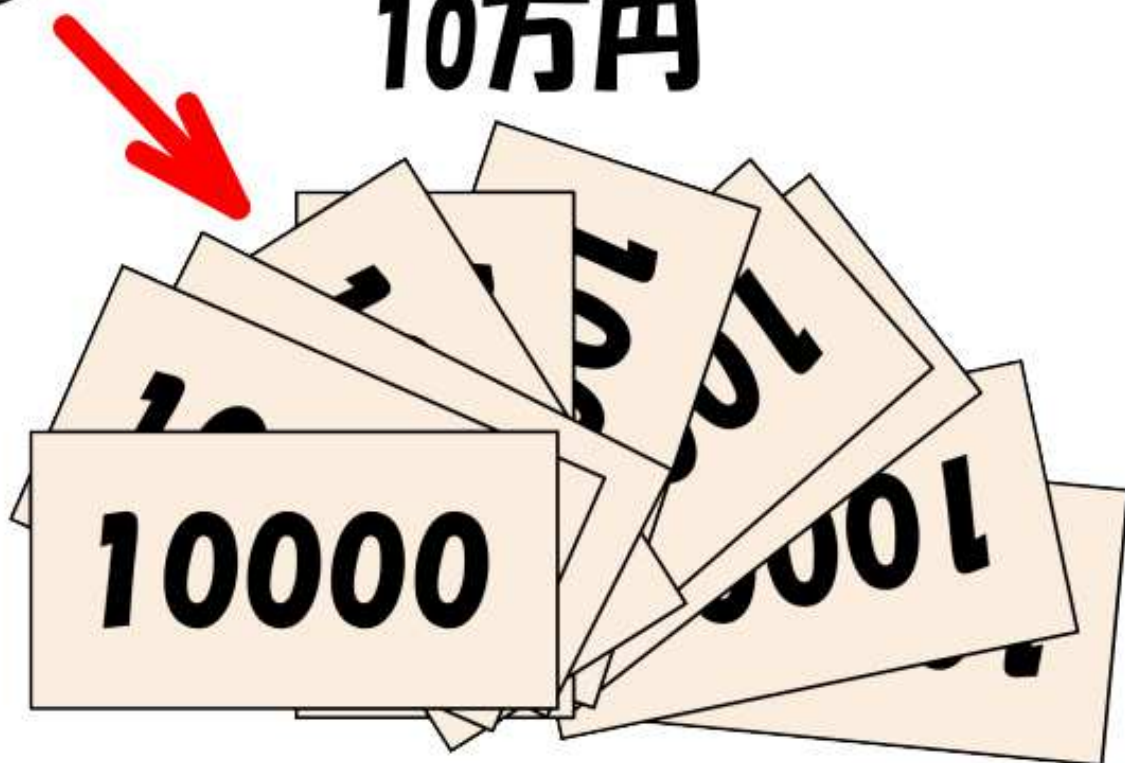


けれど町民全員が清掃作業に参加することはありませんでした。「罰金の百円を支払えばそれでいいだろう」というのです。そこで罰金額が引き上げられました。

100円



10万円



これは効果絶大でした。

町民全員が参加してくれるようになったのです！



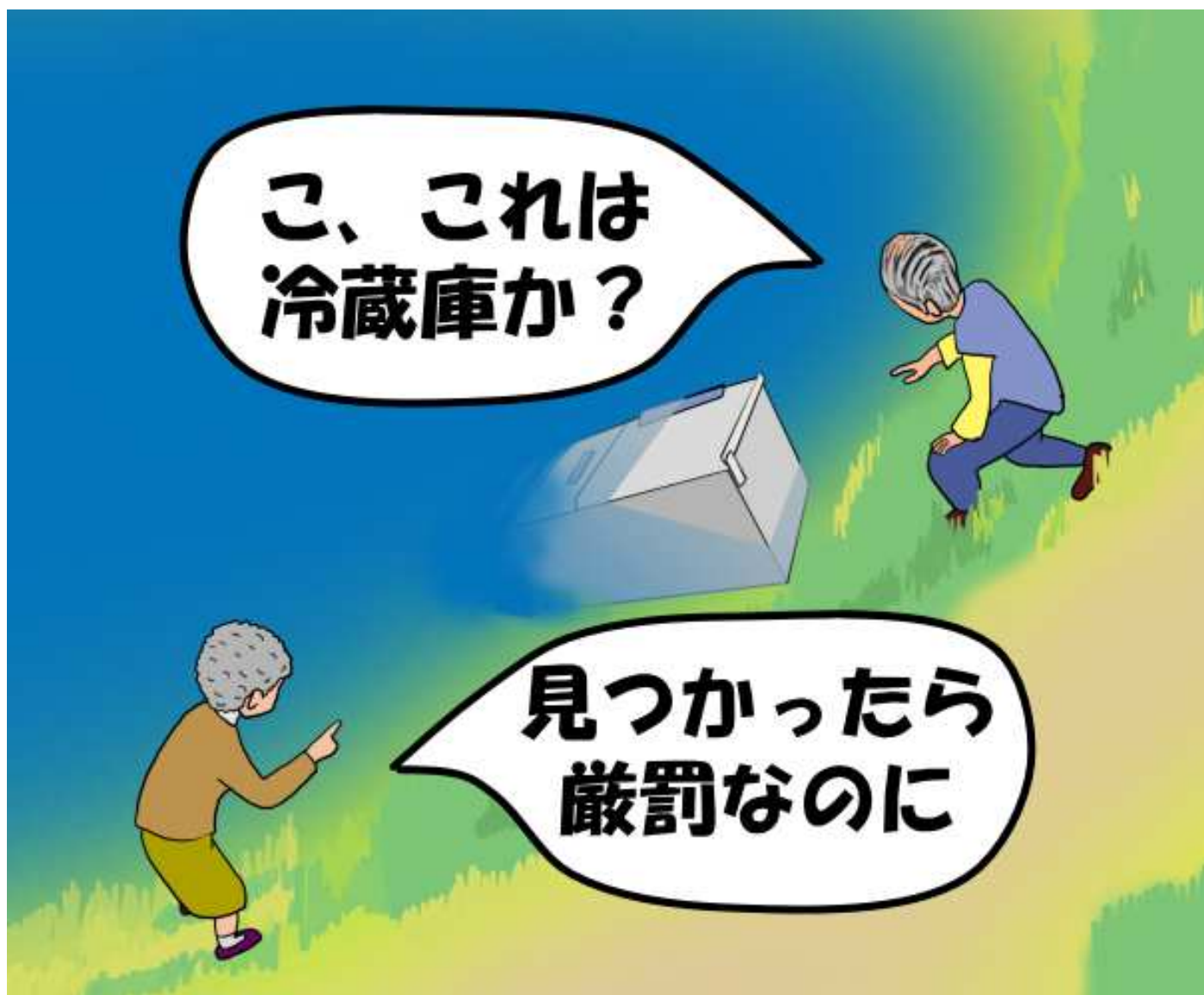
昨日は徹夜
だったのに

俺、公園なんか
来ないのに

公園さえ
なければ...

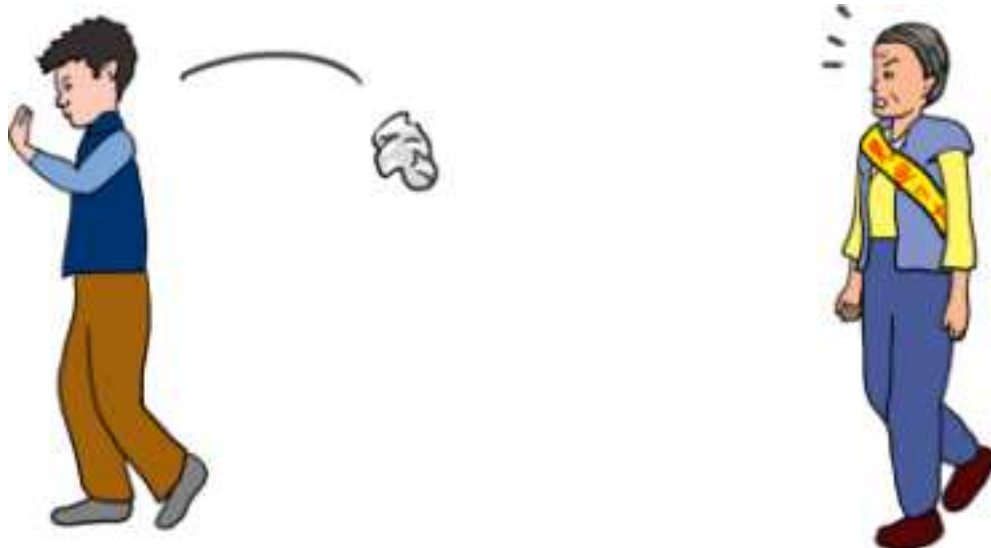
やりたい奴
が勝手にやれよ
あ〜、腹が立つ

さて一方、ゴミの不法投棄は厳罰化で減ったものの、0にはなりませんでした。



それどころか個別の不法投棄は以前よりも悪質になったのです。

中止していた、公園の見回りも復活しました。



なぜか以前のようにには誰も謝りません。



そこのあなた、ゴミを
捨てちゃだめよ



それどころかこんなことまで。

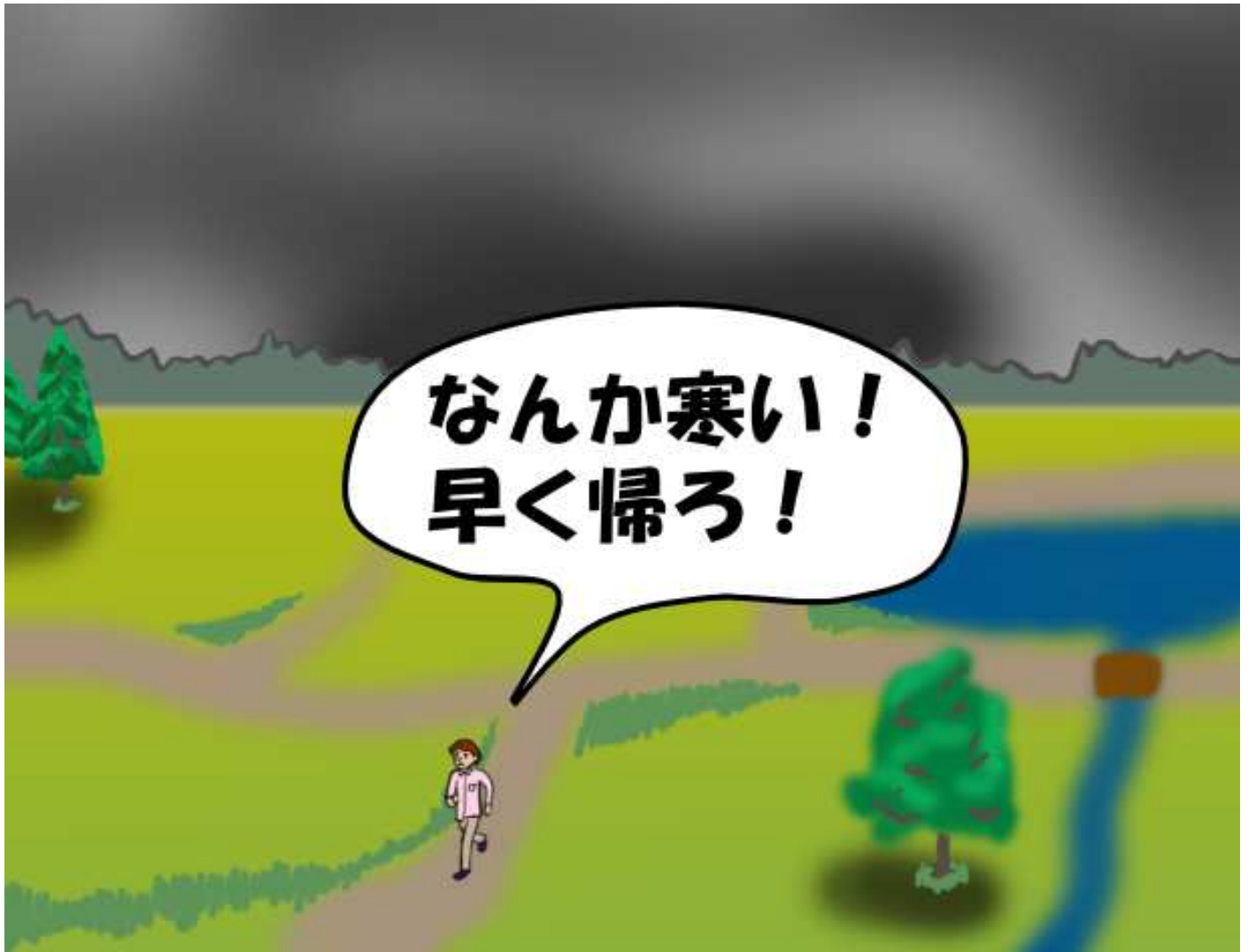


その後、不法投棄の見回りは屈強な男性の仕事となりました。



この公園にはチリ一つ落ちていません。
でも壁に絵はなく飾り付ける人もいま
せん。





恐怖は温もりを消します。

あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017